

第6回早石修記念賞

公益財団法人 小野医学研究財団（理事長：川瀬 和一十）は、2022年11月30日（水）に開催されました理事会において、（独）医薬品医療機器総合機構（PMDA）理事、東京大学医学系研究科 疾患生命工学センター 健康環境医工学部 客員研究員、筑波大学医学医療系 教授（連携大学院）新井 洋由博士に「2022年度 第6回早石修記念賞」を贈呈することを決定いたしました。

受賞者には、正賞（楯）、副賞 500万円が贈られます。

贈呈式および記念講演会は、2023年6月10日（土）午後5時00分より、千里ライフサイエンスセンター（大阪）にて執り行われました。

《受賞者》

新井 洋由（あらい ひろゆき）博士

（独）医薬品医療機器総合機構（PMDA）理事
東京大学医学系研究科 疾患生命工学センター
健康環境医工学部 客員研究員
筑波大学医学医療系 教授（連携大学院）



《受賞対象となった研究業績》

「生体膜脂質の新たな代謝経路・機能の解明と関連タンパク質の同定」

新井博士は、生体の主要な脂溶性抗酸化物質であるビタミン E の特異的輸送タンパク質（ α TTP）の精製・クローニングとその遺伝子変異がビタミン E 欠乏症の原因であることを示した研究をスタートとして、膜脂質酸化の制御機構について独創的な成果を挙げてきた。更に膜リン脂質脂肪酸のリモデリングのメカニズム解明、膜リン脂質の機能解析など生体膜脂質に関して、その機能調節の鍵となる新規タンパク質の新規機能・パラダイムを世界に先駆けて次々と明らかにしており、膜リン脂質の機能異常が病態形成に関わることを明らかにした。以上の研究は、臨床や創薬に多大な影響を与え、新たな研究領域の開拓に至った。

これらの業績は「脂質研究に於ける独創的な研究による新しい分野の確立」を対象とする早石修記念賞の受賞者としてふさわしいと考えられる。

《略歴》

- 1975年4月 東京大学理科 II 類 入学
- 1979年3月 東京大学薬学部 卒業
- 1981年3月 東京大学薬学系大学院 修士課程 修了 (衛生化学裁判化学教室)
- 1984年3月 東京大学薬学系大学院 博士課程 修了 (衛生化学裁判化学教室)
- 1984年4月-1984年8月 東京大学薬学部 衛生化学裁判化学教室 助手
- 1984年9月-1986年8月 アメリカ合衆国イリノイ大学 食糧科学科 ポストドクトラルフェロー
- 1986年9月-1988年8月 アメリカ合衆国タフツ大学 医学部生理学科 ポストドクトラルフェロー
- 1988年9月-1994年3月 東京大学薬学部 衛生化学裁判化学教室 助手
- 1994年4月-2000年3月 東京大学薬学部 衛生化学裁判化学教室 助教授
(1997年大学院重点化により東京大学大学院薬学系研究科 衛生化学教室と名称変更, 准教授)
- 2000年4月-2019年3月 東京大学大学院 薬学系研究科 衛生化学教室 教授
(2016-2018年 東京大学大学院薬学系研究科 研究科長・学部長 兼務)
(2018-2019年 (独) 医薬品医療機器総合機構(PMDA) レギュラトリーサイエンス(RS)センター長 兼務)
(2019年3月 東京大学大学院 薬学系研究科 退職、2019年6月 東京大学 名誉教授)
- 2019年4月-2020年3月 (独) 医薬品医療機器総合機構(PMDA) 審査センター長・RSセンター長
東京大学医学系研究科 疾患生命工学センター 健康環境医工学部 客員研究員
- 2020年4月-2022年3月 (独) 医薬品医療機器総合機構(PMDA) 理事・審査センター長
東京大学医学系研究科 疾患生命工学センター 健康環境医工学部 客員研究員
筑波大学医学医療系 教授 (連携大学院)
- 2022年4月-現在 (独) 医薬品医療機器総合機構(PMDA) 理事
東京大学医学系研究科 疾患生命工学センター 健康環境医工学部 客員研究員
筑波大学医学医療系 教授 (連携大学院)